



ハワイでの出会いと体験を糧に自己決定ができる大人へ

添田町青少年グローバル人材育成事業報告会

8月1日から1週間、ハワイで研修を行った中学生8人が9月22日、オークホールで研修報告を行いました。研修後に3つのグループに分かれ、町の課題・問題点を見つけるため町内を歩き、調べ、ハワイでの経験を基に解決策を見出した8人は「研修で成長した自分」を個人発表し、「町をより良くするために」考えたことをグループ発表しました。添田中3年の中村さんは「ハワイに行くまでは挑戦といえ大きな事柄に対してと考えていたが現地で英語で話しかけるなど小さな挑戦の積み重ねが大切だと感じた」と話し、添田中3年の眞木元さん、堺さん、育徳館中2年の久保田さんのグループは「添田町には年間20万人の登山客が訪れるが、観光客になっておらず、町にお金が落ちていない」と指摘。「ハワイは倉庫など各所に絵が描かれ観光地化している。登山客を観光客にするためには英彦山でしか味わえない雰囲気や、食べることができない料理をつくり、日帰り温泉の宣伝強化などが必要」と訴えました。

↑「現地で日本語が使えないストレスに逃がらずに立ち向かった」と話す中村さん



↑町の魅力UPのため星空観察会への開催も提案した久保田さん、眞木元さん、堺さん

BRT沿線地域の特産品が大集合

BRTひこぼしライン2周年記念イベント

9月15日、BRTひこぼしライン開業2周年を記念して、JR小倉駅で添田町・東峰村・日田市・JR九州によるPRイベントが開かれました。添田町からは新米をはじめ果物や野菜、ゆずいなり、鹿肉のロースト、手作りこんにやくなどを販売。沿線地域ならではの逸品を求めに会場がたくさんの人でにぎわいました。



↑新米や栗・梨など秋ならではの品々も大人気でした

焼き立て最高！手作りの楽しさ学ぶ

大人のパン作り教室

オークホールで9月17日、大人気の公民館講座「大人のパン作り教室」が開かれました。参加者は、生地作りから成型まで一連の流れを体験。温度と湿度の大切さなど豆知識も教わりながらスポンジパンズやハムロールパンなど4種類のパンを作りました。パンの良い香りに包まれ、終始笑顔あふれる時間となりました。



↑発酵させた生地にあんこを丁寧に包んでいく参加者

人生プランに合ったベストな働き方を考える

男女共同参画推進セミナー

ハローワーク田川の就職支援ナビゲーターを講師に8月27日、オークホールで「仕事探し応援講座」が開かれました。配偶者の扶養から外れる「年収の壁」とは何か、年収の壁を超えるとどうなるのか、ハローワークの活用方法などを聞いた参加者の皆さん。働いていく上でのポイントや今後の働き方を考える機会となりました。



↑法改正により今後変わる「壁」の解説もありました

敬老の日に感謝を込めて英彦山がらを

英彦山スロープカー「敬老の日」感謝祭

敬老の日に65歳以上の人に感謝を込めて英彦山がらをプレゼントしている英彦山スロープカー。糸田町から娘さん家族と訪れた長谷川さん夫婦は「娘に誘われて数年ぶりに英彦山にきました。涼しさにビックリですね。がらからは2個いただきましたので私と娘の家の玄関に飾ります」と笑顔で話してくれました。



↑15日は93人の65歳以上の方がスロープカーに乗車しました

感謝と笑顔あふれる100歳のお祝い

100歳祝い状贈呈

9月18日、今年度町で100歳を迎える10人のうち、サングリーンそえだに入所する内野美代子さん、梶原キミ子さん、添寿園に入所する平元ハルヒさんを寺西町長が訪問して長寿のお祝いをしました。最初に町長から「100歳おめでとうございます。いつまでも元気でいてください」と声をかけられ、お祝い状と記念品を手渡された内野さんは「ありがとうございます。皆さんに感謝、感謝です」と涙ぐみながら答えました。梶原さんは「じっとしているのが嫌いで、大きな病気もしたことがありません。食べることが大好きで、お菓子も大好きです」と笑顔で話してくれました。



↑100歳を迎えた梶原さん(左)と、祝い状を息子さんと一緒に受け取る内野さん(右)、寺西町長(中央)

災害・気象に関する見識を深める

防災の日講演会

防災の日(9月1日)を前に災害救助や気象情報に関する見識を深めるため、8月31日、オークホールで町消防団員を対象に講演会が開かれました。最初に田川地区消防署立花慶朗中隊長による救助活動時の緊迫した体験談の紹介があり、夜間の土砂災害現場などでは周囲の安全確保が困難で二次災害の危険性が高く「目、耳、鼻など五感を常に働かせ危険を察知してほしい」と訴えました。福岡管区気象台の草場渡気象防災情報調整官からは8月の集中豪雨で防災情報が刻々と変化した際の状況解説や、洪水・土砂災害の危険度を示す「キキクル」の活用方法などが伝えられました。



↑参加した87人の消防団員を前に、8月豪雨での線状降水帯の発生状況を解説する草場調整官

英彦山中腹で添田町をPR

KBCテレビ・ラジオ「ふるさとWish」

9月15日から21日までの1週間、九州朝日放送(KBC)のテレビとラジオで添田町の魅力を紹介する「ふるさとWish」が放送されました。テレビでは秀島商店のパナナようかんが紹介され、「ひこさんホテル和」からはお天気中継などが放送されました。ラジオではKBCラジオ「PAO～N」の中で英彦山地区にある篠崎川魚店からタレントの徳永玲子さんによる「玲子の踊る弥栄中継！」が行われました。ラジオには寺西町長や篠崎さん夫婦も出演。中継で徳永さんは焼きたてのヤマメの塩焼きに舌鼓を打ちながら、町で行われる秋のイベントをアピールしました。



↑篠崎さん夫婦(手前)が英彦山の冷たく、きれいな水で養殖したヤマメに「美味しい～」と徳永さん(右奥)